

アルカディア探訪

静岡県が推進する「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」は、見逃しがちな小さなアルカディアを探し出す新たな取り組みだ。風土に育まれた個性を生かしながら、多彩な取り組みによって農山漁村の可能性を切り拓く姿勢に、これからの国づくりに向けたヒントが隠されている。



コスモス畑は10月に見頃を迎える。「朝比奈大龍勢」が行われる年は可憐なコスモスと勇壮なロケット花火(龍勢)によって地区全体が歓声に包まれる。

アクセス
東名高速道路「焼津IC」から約20分
新東名高速道路「藤枝岡部IC」から約10分
道の駅「玉露の里」付近

コスモス畑で 結束する 美しい農村

藤枝市岡部町
殿との

郷愁を誘う風情と明るい未来

山並みを背景にのどかな水田が広がる殿地区。新東名高速道路の藤枝岡部ICから車で約10分という位置にありながら、豊かな自然に包まれた風景は、絵本に出てくるような牧歌的な農村を思わせる。しかし、閉ざされた気配はなく、静かな空気の中に人々の健やかな息づかいを感じることができる。なぜなら、ここでは子供会、老人会、町内会、業界団体など地区全体が美しいふるさとづくりという目標に向かってまとまり、活気あふれる邑づくりを進めているからだ。

地区が最も華やぐのは秋。住民総出で休耕田にコスモスの花を咲かせる試みは平成15年から始まり、年を追うごとに

多くの観光客を引き付けている。また、毎年8月23日に行われる「虫送り」は伝統文化を継承する取り組み。夕暮れに松明を焚き、火の中に飛び込む虫の駆除と供養をする農行事だ。隔年で行われる県の無形民俗文化財「朝比奈大龍勢」も殿地区の代名詞になっている。

こうした活動を通して住民の結束力を高め、地域振興に努めているのは「殿ふるさと会」だ。景観形成と伝統文化の継承を力点にしながら、美しいふるさとづくり、そして守っていこうとする姿勢は、過疎化や高齢化などに悩む農山漁村の希望の光となるであろう。

豊かな自然の中で映える行き交う人々の優しい笑顔。のどかな光景が広がる殿地区には、郷愁を誘う里山の風情と明るい未来が息づいている。